

# 和歌山スキー協通信

2026. 2. 13 (25-26 NO. 3)

中央研修（12/6・7）一辻本・池口、県スキー協理論研修（12/14）一辻本・池口・津田・中岡滉・中岡大、関西ブロック養成・研修（12/19～21）一池口・中岡大と、指導員が研修を重ねて迎えたシーズン、県スキー協の二つの行事が開催されました。

## 奥伊吹日帰り

1/21（水）、行き先はグランスノー奥伊吹。県スキー協としては久しぶりの日帰りツアーでした。参加は、池口・伊藤・田辺・石倉（シュカブラ）、北野・岡村（ビュースター）、中岡大（すべりや）、宮本（会員外）の8名。フリーで滑る組と講習しながら滑る組に分かれました。午前中はいい天気でしたが、午後からは大雪の予報。ゲレンデのDJも「早めのお帰りを」と呼びかけていました。コースにはアイスバーンもある中、それぞれすべりを堪能しました。



## 志賀高原ツアー

2/7（土）・8（日）、参加は、池口・伊藤・田辺・辻本（シュカブラ）、北野（ビュースター）、児玉・中岡大（すべりや）、宮本（会員外）の9名。

1日目はちょっと本格的に（？）開講式も行ない池口理事長の挨拶からスタート。昨年好評だったポール体験を今年もダイヤモンドで開催。中岡滉がいなかったので中岡大がポールをセットしましたが、上級者のみなさんには気持ちよく飛ばせないセットでごめんなさい。その後はフリーで滑る組と講習班に分かれ、講習は池口指導員が担当してくれました。夜には交流会も行われ、新しい会員も迎えることができました！（1月のすべりやツアーにも参加してくれた児玉さん）。スキー行事の中で会員が増えるのは和歌山スキー協としては久しぶりのことで、みんなで喜び合いました。2日目はファミリーゲレンデでじっくり滑る人、寺子屋～東館山～ブナ平と足を伸ばす人、みんなケガなく昼前には宿に帰り早めの出発。無事、和歌山に帰ることができました。

## 参加者の感想

☆収穫～池口氏のポールでの滑りを見られたこと。いつものことですが、家に帰ってから気付くことが多い。そして、池口氏の従来 of 言葉と滑りを繋げてみました。次回のツアーで試したいと思っています。今回は、38（さんぱち）の大豪雪に匹敵する恐れがあるとの予報の中でのヒヤヒヤ参加。最終日、帰和への道路事情考慮の為、昼頃出発。道路事情が刻々と変化する中、道路閉鎖コースを避けながらの帰和。大ちゃん、ポールセット・ビデオ撮影ありがとう！（シュカブラスキークラブ 田邊裕次）



☆目の前に広がる雪景色。志賀高原の雪は、パウダースノーで柔らかでした。今回参加させていただき、初日の午前中に初めてポール体験をしました。スキーは初心者ですが、ポールのように目標があるとどこで曲がればよいかわかりスピードはともかくめちゃくちゃ楽しかったです。ビデオを撮ってもらい、ロボットのように滑る自分とベテランの指導者の方々の滑りを比べて見ると「私もいつかあんなにかっこよく



スマートに滑れたらなあ。」と思いを巡らせました。私にもそんな目標ができました。まずは、坂道をスキー板で登れるように練習します。そして、いつかパラレルでポールをかっこよくターンして滑りたいです。（すべりやスキークラブ 児玉規代美）

## クラブだより

ビュースター 総会&焼き肉パーティー（7名）

すべりや 1/24・25 マイア&木曽福島（4名）

きのくに

シュカブラ 12/27 総会・忘年会（6名）

野沢温泉ツアー 3/14（土）昼出発～16（月）夜帰着

発行責任 中岡 大（和歌山県勤労者スキー協議会 事務局）

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 携帯 090-7873-3603

E-mail [dai-n.suberiva@gaia.eonet.ne.jp](mailto:dai-n.suberiva@gaia.eonet.ne.jp)

和歌山スキー協ホームページ <https://spowaka.sakura.ne.jp/ski/>